

## 財務諸表に対する注記

### 1、重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
建物及び什器備品…定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	0	0	335,200,568
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	0	0	371,500,568
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	5,605,220	969,754	0	6,574,974
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,175,183	217	0	2,175,400
(3) 俳句資料室事業引当資産	7,848,433	0	1,240,046	6,608,387
(4) 建物附属設備	20,123,041		1,836,212	18,286,829
小 計	35,751,877	969,971	3,076,258	33,645,590
合 計	407,252,445	969,971	3,076,258	405,146,158

### 3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	(0)	(335,200,568)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,500,568	(0)	(371,500,568)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	6,574,974	(0)	(6,574,974)	(6,574,974)
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,175,400	(0)	(2,175,400)	(0)
(3) 俳句資料室事業引当資産	6,608,387	(6,608,387)	(0)	(0)
(4) 建物附属設備	18,286,829	(18,286,829)	(0)	(0)
小 計	33,645,590	(24,895,216)	(8,750,374)	(6,574,974)
合 計	405,146,158	(24,895,216)	(380,250,942)	(6,574,974)

### 4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	397,844,566	248,255,002	149,589,564
什器備品	31,712,844	26,212,988	5,499,856
合 計	429,557,410	274,467,990	155,089,420